

最近の顕著な地震の表(1971年~1980年)*

吉田 弘**・徳永 規一*** 勝又 護****

筆者らはこれまで1970年までの日本付近の顕著な地震の表を編集したが、この様な表はその期間の地震活動を概観するうえで参考となると考えられるので、続きを作成した。作成にあたってはこれまでの記述を出来るだけ踏襲した。

1971年から1980年までの10年間に災害を伴った地震は、ごく軽微な被害のものまでいれて37回(ただし、群発地震は一群を一件とした)で、1961~70年の43回とほぼ同じであるが、死者を出した地震は5回(1961~70年:10回)とやや少なくなっている。

1971年から1980年までの期間に注目されるべき地震としては1973年根室沖地震、1974年伊豆半島沖地震(死者・行方不明38)、1978年伊豆大島近海地震(死者・行方不明25)、1978年宮城県沖地震(死者28)などがある。特に1974年伊豆半島沖地震はこれ以降、伊豆半島及びその周辺での地震活動が非常に活発になっていることと関連して注目されよう。また1971年のサハリン南西沖の浅い地震活動は日本周辺の地震活動を考えるうえで注目されよう。

1971年から1980年までの期間に、日本の沿岸で津波が観測された地震は、ごく小さいものまでいれて20回、うち津波による被害を生じたものは2回、また遠地震によるものは5回である。

表に収録した地震は

1. 日本国内で地震災害の報告された地震。表で番号のところに○がついているものはやや著しい災害を伴ったものを示す(図に○(中)で示す)。また、●がついているものは、特に著しい災害を伴ったものを示す(図に○(大)で示す)。
2. 日本の沿岸で津波の観測された地震。表の番号の左側にT、図に●で示す。表のTが太字、図に■で示されているものは、1m以上の波高の津波を伴ったものを示す。

3. 気象官署において、震度IV以上が観測された地震。記事欄の括弧内のローマ数字は東京における震度を示す。

4. 顕著な群発地震。図中の□はその範囲を示す。

震源事項は、日本付近の地震については「地震月報」によった。外国の地震の震源事項は主としてUSGSのものを用いた(*を付してある)。

表に記載された地震のうち、顕著な災害を伴ったものについては多数の文献があるが、ここでは、気象庁関係の出版物、東京大学地震研究所彙報に掲載されているもののみを選び文献の表に記載した(番号は、図、表、文献の表に共通)。また、全期間について、気象庁地震課刊行の「地震火山概況」(月刊)を参照した。

5. 表に番号の付していないマグニチュード6以上の地震についても参考のため表中に示した。

文献の表

- 11 駿(1972) 37, 33~37
- 15 駿(1977) 41, 77~82
- 16 駿(1972) 37, 97~101 駿(1973) 38, 31~35
- 31 駿(1973) 38, 31~35
- 32 駿(1973) 38, 31~35, 87~101
- 35 技(1974) 87
- 39 技(1974) 87
- 53 駿(1974) 39, 89~120
- 61 駿(1977) 41, 77~82
- 67 駿(1975) 40, 55~72
- 74 駿(1975) 40, 81~103
- 震(1975) 50, 303~327, 343~358
- 75 駿(1977) 41, 31~48
- 79 駿(1977) 41, 77~82
- 80 駿(1977) 41, 77~82
- 82 駿(1981) 45, 99~105

* List of Major Earthquakes in and near Japan During the Period from 1971 through 1980 (Received Mar. 4, 1991)

** Hiromu YOSHIDA, 地震火山業務課, 現徳島地方気象台

*** Kiichi TOKUNAGA, 地震津波監視課

**** Mamoru KATSUMATA, 元気象研究所

- 83 験 (1977) 41, 63～74
87 験 (1981) 45, 99～105
88 震 (1977) 52, 279～284, 285～300
95 験 (1978) 42, 61～72
109 験 (1979) 43, 21～57
 震 (1978) 53, 1025～1068, 1101～1133
114 験 (1979) 43, 75～92
120 験 (1981) 45, 99～105
121 験 (1981) 45, 99～105
125 験 (1979) 43, 93～102
128 震 (1979) 54, 211～222
129 技 (1978) 95
134 験 (1981) 45, 99～105
137 験 (1981) 45, 37～48
141 験 (1979) 43, 103～105
151 験 (1981) 45, 99～105
159 験 (1982) 46, 7～32

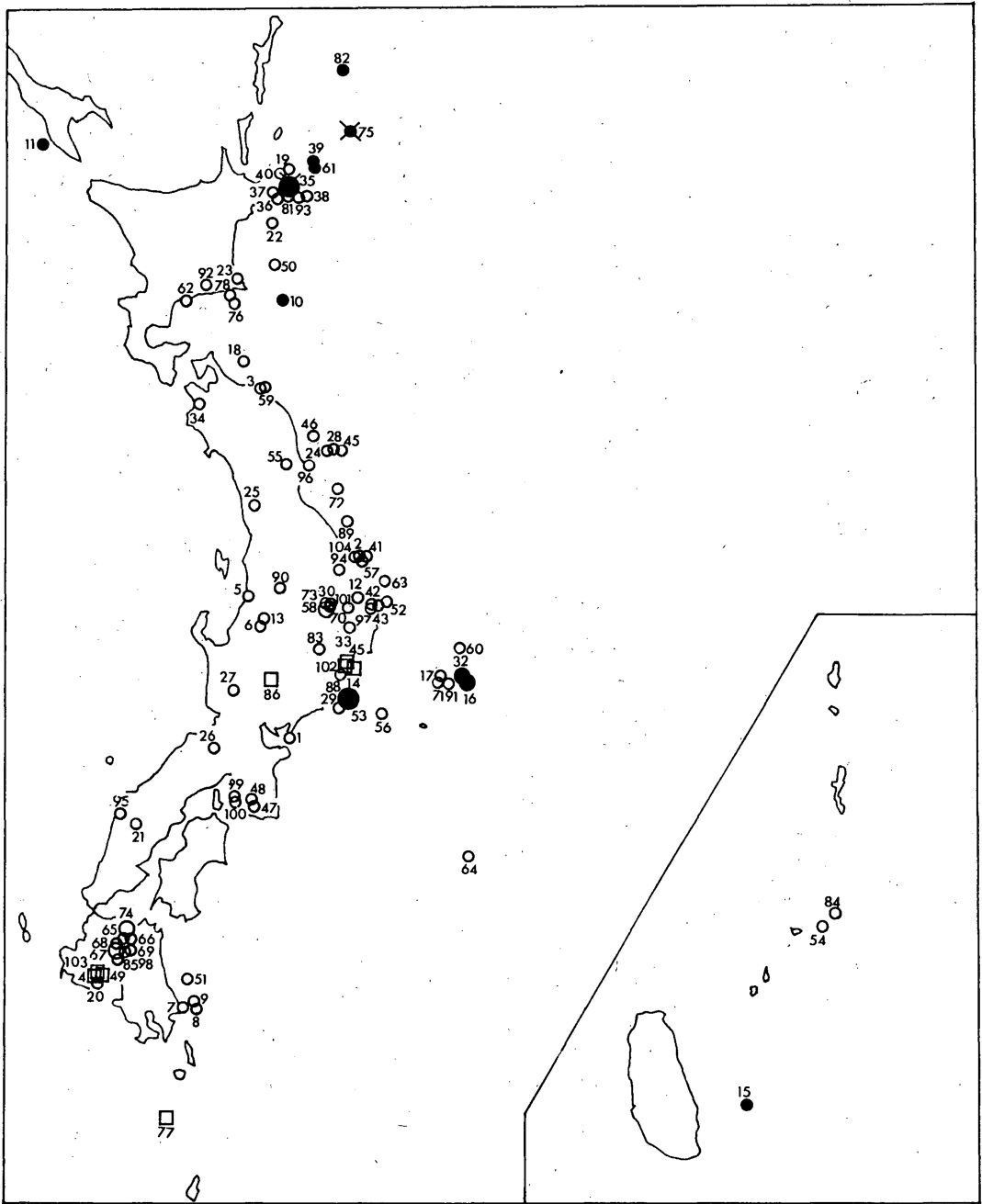
験：験震時報

震：地震研究所集報

技：気象庁技術報告

参考文献

- 勝又 護(1961)：最近の顕著な地震の表
(1951年～1960年)，験震時報，26, 129～133.
徳永規一・勝又 護(1971)：最近の顕著な地震の表
(1961年～1970年)，験震時報，36, 97～107.



第1図 顕著な地震の分布図 (1971年~1977年)
(数字は地震番号)

番号	発震時 月日時分	震源要素				規模 M	記 事	
		震央地名	北緯 。	東経 。	深さ km			
1	1971 (昭46) I 5 06 09	愛知県沖	34 26	137 10	40	6.1	IV: 津, 名古屋, 伊良湖, 上野, 四日市。 (II)	
2	I 6 15 04	茨城県沖	36 22	141 09	40	5.5	IV: 水戸。(II)	
3	I 30 01 43	岩手県北部沿岸	40 16	141 46	50	5.2	IV: 八戸。	
4	II 15 ~ 20 おもな地震	雲仙岳付近	15日から20日にかけて地震群発 有感地震23回。					
	II 15 11 35	III: 長崎						
	II 15 11 57	III: 長崎, 雲仙岳	32 43	130 06	10	4.6		
	II 15 16 03	III: 長崎						
5	II 26 04 27	新潟県南西部	37 08	138 21	00	5.5	IV: 高田。(I)。震央付近で小被害。負傷者13。浦川原村で崖くずれ。松代町, 松元町で雪崩れ。	
6	III 20 10 13	松代付近	36 34	138 12	10	4.2	IV: 長野。	
7	V 25 22 00	日向灘	31 20	131 30	00	5.8	IV宮崎, 鹿児島, 油津, 都城。	
8	V 26 15 13	日向灘	31 10	131 44	40	5.6	IV: 鹿児島, 油津。	
9	V 29 17 52	日向灘	31 16	131 41	20	5.8	IV: 宮崎, 油津, 都城。	
T 10	VII 2 16 25	襟裳岬沖	41 14	143 42	60	7.0	V: 浦河。IV: 広尾, 八戸, 釧路, 宮古, 根室, 盛岡, 田名部。(II)北海道南部で極く軽微な被害。小津波。高さの最大 広尾20cm, 八戸15cm, 浦河13cm, 宮古9cm。	
T 11	IX 6 03 35 おもな余震	サハリン南西沖	46 40	141 23	00	6.9	III: 稚内。北海道の日本海側及びオホーツク海側で小津波。高さの最大 稚内29cm, 羽幌20cm, 留萌8cm, 網走19cm, 船泊(礼文島)28cm, 香深(礼文島)7cm。	
	IX 8 20 48	II: 稚内	46 26	141 13	00	6.6		
	IX 9 02 00	III: 稚内	46 23	141 05	40	6.3		
	IX 28 04 02	II: 稚内	46 26	141 26	00	6.0		
	IX 15 23 55	三陸はるか沖	39 05	143 52	50	6.3	II: 青森。	
	IX 24 10 09	三陸はるか沖	39 19	143 37	40	6.1	II: 盛岡, 福島。	
12	X 11 19 16	千葉県北部	35 54	140 33	40	5.2	IV: 銚子。(II)	
13	XI 10 17 37	長野県北部	36 37	138 20	00	4.5	III: 長野。須坂市付近で壁の亀裂, 落石等による軽微な被害。	
	XII 3 02 18	エトロフ島付近	43 44	152 06	00	6.5	II: 根室, 釧路, 浦河。	
14	1972 (昭和47) I 4 12 16 I 14 ~ 21 おもな地震	台湾付近 伊豆大島近海	22 36	122 06	33	6.9	III: 石垣島。 1月14日から21日にかけて地震群発, 大島で有感28回。	
	I 14 16 04	伊豆大島近海					IV: 大島。	
	I 14 16 14	伊豆大島近海	34 48	139 19	00	3.8	IV: 大島。島内で崖崩れなど軽微な被害	
	I 14 16 26	伊豆大島近海	34 46	139 15	00	3.8	IV: 大島。	
T 15	I 25 11 06	台湾付近*	22.5	122.8	33	7.5	III: 与那国島。石垣島でわずかに津波が記録された。	
	I 25 12 41	台湾付近*	23.0	122.6	33	7.0		
○T16	II 29 18 23	八丈島東方沖	33 11	141 16	70	7.1	V: 八丈島。IV: 三宅島, 館山, 大島, 網代, 横浜, 銚子, 東京, 柿岡, 水戸,	

番号	発震時 月日時分	震源要素			規模 M	記 事	
		震央地名	北緯	東経			深さ km
						小名浜, 軽井沢, 福島, 新島, 千葉。八丈島で被害。住宅一部破損27, 道路損壊約260, 崖崩れ16, 堤防破損2, 水道被害15, 船舶一部破損3。本州の太平洋沿岸で小津波。高さの最大 布良23cm, 小名浜13cm, 御前崎16cm, 串本11cm。	
17	Ⅲ 3 05 10	八丈島東方沖	33 40	140 50	20	5.5	Ⅳ: 八丈島。
18	Ⅲ 20 00 58	青森県東方沖	40 51	142 00	80	6.4	Ⅳ: 八戸, 青森, 盛岡, むつ。(I)
19	Ⅲ 26 07 59	北海道東方沖	43 04	146 13	50	6.1	Ⅳ: 根室。
20	Ⅲ 26 17 13	雲仙岳付近					Ⅳ: 雲仙岳。3月にはこの他11回の有感。
21	Ⅳ 14 04 29	広島県北部	34 54	132 56	10	5.2	Ⅳ: 庄原。
	Ⅳ 24 18 59	台湾付近	23 36	121 36	33	6.9	Ⅰ: 与那国島, 宮古島, 那覇。
22	Ⅴ 11 09 45	釧路沖	42 36	144 56	60	5.8	Ⅳ: 釧路。
23	Ⅵ 16 00 21	北海道南部	42 10	143 11	60	5.4	Ⅳ: 浦河。
24	Ⅶ 4 10 04	宮城県沖	38 28	142 11	40	5.7	Ⅳ: 大船渡。(I)
25	Ⅷ 20 19 09	山形県中部	38 36	139 57	20	5.3	Ⅲ: 酒田, 秋田, 新庄。鶴岡市で停電600, 湯野浜(山形県)で建物に極く軽微な被害。
26	Ⅷ 31 16 54	京都府中部	35 17	135 37	10	5.1	Ⅳ: 京都。
27	Ⅷ 31 17 07	福井・岐阜県境	35 53	136 46	10	6.0	Ⅲ: 福井, 飯田, 甲府, 東京。二日町(岐阜)で送電線ショート, 高鷲町(岐阜)で停電。
	Ⅸ 2 10 50	鹿児島県南西沖	29 19	130 53	90	6.2	Ⅲ: 屋久島, 名瀬。
	Ⅸ 23 04 58	台湾付近	22 18	121 12	33	6.2	
	Ⅸ 23 11 14	台湾付近	22 18	121 24	33	6.1	
28	Ⅸ 25 18 28	宮城県沖	38 25	141 55	50	5.2	Ⅳ: 石巻。(II)
29	X 6 20 31	伊豆半島南東沖	34 24	138 31	30	5.5	Ⅳ: 御前崎。(II)
30	XI 6 20 39	茨城県南西部	36 04	139 53	40	5.1	Ⅳ: 宇都宮。(III)
	XI 10 03 41	台湾付近	23 54	121 36	33	6.1	Ⅰ: 石垣島
T31	XII 2 09 24	フィリピン・ミンダナオ島付近*	6.5	126.6	33	7.4	西南日本で微小な津波。高さの最大 御前崎16cm, 尾鷲22cm, 串本24cm, 油津16cm, 那覇6cm。
○T32	XII 4 19 16	八丈島東方沖 (1972年12月4日)	33 12	141.05	50	7.2	Ⅵ: 八丈島。Ⅳ: 三宅島, 大島, 館山, 網代, 横浜, 東京, 小名浜, 千葉, 新島。八丈島で被害。落石9, 道路損壊4, 地割れ4, 水道損壊2, 土砂崩壊多数, 青ヶ島でも落石, 土砂崩壊の被害あり。本州の太平洋沿岸等で小津波。高さの最大 八丈島17cm, 布良21cm, 串本35cm, 土佐清水12cm, 油津15cm, 小名浜15cm。
	XII 11 03 26	エトロフ島付近	43 59	149 42	70	6.0	Ⅰ: 根室, 釧路, 帯広, 八戸。
	1973 (昭和48)						
33	Ⅲ 27 11 08	東京湾	35 31	139 56	60	4.9	Ⅳ: 大島, 横浜。(III)
34	Ⅴ 5 16 41	青森県西部	40 42	140 26	00	4.1	Ⅳ: 弘前。
			1972年9月から岩木山麓で微小地震頻発				1973年8月くらいまで続く。

番号	発震時 月日時分	震源要素				規模 M	記 事	
		震央地名	北緯 。	東経 。	深さ km			
●T35	VI 17 12 55	根室半島南東沖 (1973年6月17日根室半島沖地震)	42 58	145 57	40	7.4	V: 根室, 釧路。IV: 浦河, 広尾, 帯広, 網走, 青森, むつ。(Ⅲ) 根室市, 釧路市を中心に道東で地震, 津波によるかなりの被害。津波の高さは4mを越えた所があり, 浸水距離は200mに達した所がある。負傷者28, 家屋全壊2, 家屋一部破損約500, 床上浸水62, 床下浸水8, 船舶沈没3, 船舶陸揚げ10。この他, 港湾施設や浸水により海産物関係に大きな被害がでた。津波の高さの最大 花咲280cm, 釧路48cm, 十勝港107cm, 浦河49cm, 函館33cm, 網走9cm, 八戸52cm, 宮古39cm, 鮎川23cm。	
36	VI 17 21 14	根室半島南東沖	42 52	145 29	40	5.2	IV: 釧路。	
37	VI 17 22 33	根室半島南東沖	42 52	145 28	40	5.7	V: 釧路。	
38	VI 18 05 38	根室半島南東沖	42 29	146 05	40	6.1	IV: 根室。	
T 39	VI 24 11 43	根室半島南東沖	42 57	146 45	30	7.1	V: 釧路。IV: 根室, 浦河。(Ⅱ) 根室で負傷者1, 道路損壊1等の軽微な被害。小津波。高さの最大 花咲64cm, 釧路15cm, 十勝港28cm, 浦河15cm, 網走8cm, 八戸12cm, 宮古7cm, 鮎川8cm。	
	VI 24 12 04	根室半島南東沖	42 52	146 58	30	6.1	II: 根室, 網走。	
	VI 27 07 32	根室半島南東沖	42 41	146 38	10	6.5	III: 根室, 釧路。	
	VI 27 07 45	根室半島南東沖	42 37	146 43	00	6.2	II: 根室, 釧路。	
40	VI 29 12 27	根室半島南東沖	43 05	145 53	50	5.8	IV: 根室。	
41	VII 20 17 13	茨城県沖	36 25	141 02	40	5.9	IV: 水戸。(Ⅱ)	
	IX 5 22 03	三陸はるか沖	39 28	143 24	40	6.1	III: 宮古, 盛岡。	
	IX 10 03 25	三陸はるか沖	39 28	143 36	30	6.0		
42	IX 30 15 18	銚子付近	35 39	140 40	50	5.9	IV: 銚子。(Ⅲ)	
43	X 1 23 16	銚子付近	35 37	140 48	60	5.8	IV: 銚子。(Ⅲ)	
44	XI 13 10 12	宮城県沖	38 35	142 22	60	5.5	IV: 大船渡。(Ⅰ)	
45	XI 14 ~ 20 おもな地震	伊豆大島近海	14日から20日にかけて地震群発 大島で有感18回。					
	XI 14 23 47	伊豆大島近海	34 43	139 18	00	4.1	IV: 大島。	
46	XI 19 22 02	宮城県沖	38 53	142 09	50	6.4	IV: 大船渡, 宮古, 石巻, 盛岡。(Ⅱ)	
47	XI 25 13 25	和歌山県中部	33 51	135 25	60	5.9	IV: 和歌山。負傷者2の軽微な被害。	
48	XI 25 18 19	和歌山県中部	33 53	135 23	60	5.8	IV: 和歌山, 奈良。	
1974 (昭和49)								
49	I 7 ~ 28	雲仙岳付近	7日から28日にかけて地震群発 有感地震45回。					
50	I 25 04 13	十勝沖	41 50	144 16	40	6.0	IV: 広尾。	
51	I 31 16 04	宮城県沖	31 45	131 59	20	5.7	IV: 宮崎。	
52	III 3 13 50	千葉県東方沖	35 34	140 53	60	6.1	IV: 銚子, 柿岡, 東京。	
●T53	V 9 08 33	伊豆半島沖 (1974年伊豆半島沖地震)	34 34	138 48	10	6.9	V: 石廊崎, IV: 静岡, 網代, 三島, 館山, 横浜, 大島, 新島。(Ⅲ) 南伊豆町を	

番号	発震時 月日時分	震源要素				規模 M	記 事
		震央地名	北緯 °	東経 °	深さ km		
							中心に下田市、松崎町でかなりの被害。死者30、行方不明8、負傷者102、家屋全壊134、全焼5、半壊86、一部損壊約1900、道路被害86、山(崖)崩れ約100。死者、不明者の多くは山崩れによる。小津波。最大波高 南伊豆11cm、御前崎15cm。
54	V 18 02 12	宮古島近海	24 34	125 55	20	5.8	IV：宮古島。
55	VI 23 10 40	宮城県北部	38 41	141 11	00	4.7	I：石巻、福島、一関。震央付近で極く軽微な被害。
56	VI 27 10 49	三宅島近海	33 45	139 12	10	6.1	IV：三宅島。(Ⅲ)
57	VII 8 14 45	茨城県沖	36 25	141 12	40	6.3	IV：小名浜、水戸、銚子、柿岡、白河、福島。(Ⅲ)
	VII 28 20 36	千島列島中部	45 07	153 26	10	6.2	I：網走。
	VII 29 16 16	千島列島中部	44 32	153 50	60	6.1	
○ 58	VIII 4 03 16	茨城県南西部	36 01	139 55	50	5.8	IV：柿岡、宇都宮、水戸。(Ⅲ) 死者2、負傷者19。
	VIII 9 04 16	台湾付近	23 30	121 40	00	6.1	Ⅲ：与那国島。
59	IX 4 18 20	岩手県北部沿岸	40 11	141 56	40	5.6	IV：八戸、宮古、盛岡。久慈市で土砂崩れ、盛岡市で停電などの被害。
60	IX 27 12 10	八丈島東方沖	33 43	141 31	60	6.4	IV：東京、横浜、勝浦。
T 61	IX 27 14 47	根室半島沖	42 45	146 40	30	6.6	IV：根室。小津波。高さの最大 花咲18cm。
	X 9 16 33	エトロフ島付近	43 56	149 44	80	6.7	Ⅱ：釧路、根室、盛岡、広尾。
	X 10 15 48	三陸はるか沖	40 55	143 18	20	6.2	Ⅲ：青森、盛岡、浦河。
	X 10 15 56	三陸はるか沖	40 53	143 23	30	6.4	Ⅲ：青森、盛岡。
	X 12 15 14	三陸はるか沖	40 29	143 52	40	6.2	I：青森。
62	XI 9 06 23	苫小牧沖	42 29	141 47	130	6.5	V：浦河。IV：日高門別。日高地方で軽傷1、学校等の一部破損約20の軽微な被害。
63	XI 16 08 32	銚子沖	35 45	141 15	40	6.1	IV：銚子。(Ⅲ)
64	XI 30 07 06	本州南方沖	30 36	138 46	420	7.6	IV：八丈島、館山、東京、福島。
	1975 (昭和50)						
65	I 22 13 40	熊本県北東部	33 02	131 08	00	5.5	IV：阿蘇山。
66	I 23 22 54	熊本県北東部	33 01	131 07	00	4.3	IV：阿蘇山。
○ 67	I 23 23 19	熊本県北東部	33 00	131 08	00	6.1	V：阿蘇山。IV：熊本。震央付近の一の宮(熊本)を中心に被害が生じた。負傷者10、家屋全壊16、家屋半壊17、家屋一部破損約180、道路破損12、崖崩れ15。また大分県側にも建物一部破損、道路損壊など軽微な被害が出た。
68	I 23 23 31	熊本県北東部	33 00	131 07	00	4.9	IV：阿蘇山。
69	I 24 02 57	熊本県北東部	33 00	131 08	00	5.1	IV：阿蘇山。
70	II 8 01 41	千葉県北部	35 49	140 07	60	5.4	IV：東京。

番号	発震時 月日時分	震源要素				規模 M	記 事
		震央地名	北緯 。	東経 。	深さ km		
71	III 23 16 33	台湾東方沖	22 43	123 09	70	6.5	III : 石垣島。
72	IV 2 17 44	八丈島近海	33 42	140 47	40	5.8	IV : 八丈島。(II)
73	IV 8 15 27	福島県沖	37 41	141 54	30	5.9	IV : 福島。
74	IV 18 03 41	茨城県南西部	36 08	139 51	50	5.0	IV : 秩父。(II)
○ 74	IV 21 02 35	大分県中部	33.08	131 20	00	6.4	IV : 大分, 阿蘇山。震央付近の九重町, 湯布院町, 庄内町, 直入町を中心に被害が出た。負傷者19, 家屋全壊31, 家屋半壊90, 一部破損約2200。道路損壊47, 山(崖)崩れ約140。熊本県側でも小規模な崖崩れ, 落石が生じた。
	V 4 18 32	福島県沖	37 11	142 09	30	6.0	III : 福島, 白河。
	V 24 01 02	台湾東方沖	22 28	122 33	40	6.5	II : 石垣島。
	VI 7 00 49	沖繩南方沖	23 43	126 35	60	6.0	
T 75	VI 10 22 47	北海道東方沖	42 46	148 13	00	7.0	I : 根室, 釧路, 網走, 浦河。震度分布からは予想外の津波が発生した。高さの最大 花咲95cm, 釧路13cm, 浦河38cm, 網走16cm, 八戸22cm, 三宅島20cm, 土佐清水10cm, 父島22cm。
	おもな余震						
	VI 10 23 58	II : 根室	42 51	147 30	00	6.0	
	VI 14 03 08	II : 根室, 釧路	42 54	147 30	00	6.5	
	VI 15 03 38	I : 根室, 釧路	43 05	147 35	00	6.0	
	VI 15 09 20	I : 根室, 釧路, 帯広	43 10	147 51	00	6.2	
	VI 23 07 44	III : 根室	42 41	147 24	00	6.0	
	VI 22 11 23	鳥島近海	30 13	143 11	60	6.1	
76	IX 20 02 54	浦河沖	41 46	142 50	50	5.9	IV : 浦河。
77	IX 25	鹿児島県小室島付近	25日05時30分頃からトカラ列島の小宝島, 宝島, 悪石島付近で10数回の有感地震有り。名瀬でも07時23分と09時19分に震度Iを観測した。小宝島では道路に地割れが生じた。				
78	X 30 10 41	浦河沖	41 57	142 47	60	6.0	IV : 浦河。
T 79	X 31 17 30	フィリピン諸島付近*	12.5	126.0	50	7.2	西日本の太平洋沿岸で津波が観測された。高さの最大 父島18cm, 串本27cm, 八丈島28cm, 布良22cm, 土佐清水18cm。
T 80	XI 29 23 57	ハワイ島付近*	19.3	155.0		7.2	日本の太平洋沿岸で津波が観測された。高さの最大 父島15cm, 布良12cm, 串本15cm, 宮古13cm。
81	XII 3 16 14	根室半島南東沖	43 05	145 56	50	5.2	IV : 根室。
	1976 (昭和51)						
T 82	I 21 19 06	北海道東方沖	43 44	149 11	00	6.5	II : 根室, 広尾, 浦河。微小な津波が観測された。高さの最大 花咲13cm。
	I 21 19 22	北海道東方沖	43 54	149 18	10	6.0	
83	VI 16 07 36	山梨県東部	35 30	139 00	20	5.5	IV : 河口湖, 三島, 東京。山梨県東部から神奈川県西部の一部で被害が生じた。建物半壊3, 建物一部破損約90, 道路破損30。
84	VI 20 13 38	宮古島近海	24 31	126 14	30	6.2	IV : 宮古島。

番号	発震時 月日時分	震源要素				規模 M	記 事	
		震央地名	北緯 。	東経 。	深さ km			
85	VIII 11 06 51	熊本県北部	32 55	130 41	10	4.5	IV：熊本。	
86	VIII 16	長野県王滝村付近	16日頃から木曾郡王滝村付近で、地鳴りを伴う地震が群発。					
T 87	VIII 17 01 15	ミンダナオ島付近*	7.3	123.6	33	8.0	微小な津波が観測された。高さの最大土佐清水10cm、串本12cm、布良9cm、父島10cm。	
88	VIII 18 02 19	伊豆半島東部	34 47	138 57	00	5.4	III：網代、三島、大島、石廊崎、館山。 (I) 伊豆半島河津町付近で小被害。家屋半壊3、一部破損約60。	
89	X 6 22 38	福島県沖	37 04	141 25	70	5.9	IV：福島、小名浜、白河、水戸、宇都宮。 (III)	
	XI 8 17 19	宮城県沖	38 04	142 19	30	6.2	III：石巻、仙台、福島。	
	XII 15 01 06	奄美大島近海	28 15	130 44	60	6.0	III：名瀬。	
90	XII 29 23 37	群馬県北部	36 38	139 10	130	5.8	IV：東京。	
1977 (昭和52)								
	I 17 15 23	父島近海	26 33	142 34	70	6.2	II：父島。	
91	II 19 05 51	八丈島近海	33 22	140 57	10	5.7	IV：八丈島。(II)	
92	II 24 20 40	北海道南部	42 25	142 36	70	5.8	IV：浦河、広尾。	
93	III 7 18 12	根室半島南東沖	42 49	145 52	60	5.3	IV：根室。	
94	IV 19 15 15	茨城県沿岸	36 28	140 37	60	5.1	IV：水戸。(II)	
95	V 2 01 23	島根県中部	35 09	132 42	10	5.3	III：岡山、多度津、境。震央付近の掛合町、頓原町を中心に家屋の壁、タイルのひび割れ、ブロック塀の損壊などの被害がでた。	
96	VI 8 23 25	宮城県沖	38 28	141 40	70	5.8	IV：仙台、盛岡、大船渡。(II) 江の島(宮城県)で道路、石垣などに極く軽微な被害が出た。	
97	VI 22 16 11	千葉県東方沖	35 27	140 32	40	5.0	IV：東京。小規模な群発20日から28日にかけて有感地震34回。	
98	VI 28 11 46	熊本県中部	32 54	130 43	10	5.2	IV：熊本。	
99	VII 7 04 27	和歌山市付近	34 12	135 12	00	4.5	IV：和歌山。	
100	VIII 17.00 32	和歌山市付近	34 09	135 12	00	4.0	IV：和歌山。	
101	X 5 00 39	茨城県南西部	36 08	139 52	60	5.4	IV：東京、水戸、秩父。	
102	X 9～XI 17	伊豆大島近海	10月9日から11月17日にかけて地震群発 有感地震24回。					
103	XI 11～13	雲仙岳付近	11日から13日にかけて地震群発 有感地震30回。					
104	XII 17 00 10	茨城県沖	36 35	141 05	50	5.6	IV：水戸、柿岡。(III)	
	XII 21 10 01	父島近海	25 53	143 27	50	6.0	III：父島。	
1978 (昭和53)								
105	I 14 09 36	伊豆大島近海	34 43	139 17	00	4.6	IV：大島。(I)	
106	I 14 09 45	伊豆大島近海	34 44	139 16	00	4.9	IV：大島。(II)	
107	I 14 09 47	伊豆大島近海	34 40	139 13	00	4.9	IV：大島。(II)	
108	I 14 09 55	伊豆大島近海	34 41	139 20	00	3.8	IV：大島。	
●T 109	I 14 12 24	伊豆大島近海 (1978年伊豆大島近海地震)	34 46	139 15	00	7.0	V：大島、横浜。IV：東京、網代、石廊崎、三島、館山、熊谷、静岡。下田市、	

番号	発震時 月日時分	震源要素			規模 M	記 事
		震央地名	北緯 。	東経 。		
						河津町, 東伊豆町, 伊東市を中心にか の被害が生じた。死者23, 行方不明2; 負傷者約140, 建物全壊89, 半壊約500, 一部破損約3700, 道路損壊約500, 山・ 崖崩れ約220, 下田市で停電, 水道断水, ガス停止による被害。また大島でも被害。 家屋一部破損50, 道路損壊5, 崖崩れ16。 微小な津波が観測された。最大波高 岡 田70cm, 伊東8cm, 布良22cm, 南伊豆16 cm。
110	I 14 12 30	伊豆大島近海				IV: 大島。
111	I 14 15 30	伊豆大島近海	34 46	139 28	10	3.4 IV: 大島。
112	I 15 07 31	伊豆半島中部	34 50	138 53	20	5.8 IV: 三島, 横浜。(III)
113	I 30 09 00	伊豆大島近海	34 47	139 22	00	4.3 IV: 大島。
○114	II 20 13 37	宮城県沖	38 45	142 12	50	6.7 V: 大船渡。IV: 仙台, 盛岡, 福島, 石 巻, 宮古, 小名浜, 水戸, 酒田, 新庄。 仙台市内でビルの窓ガラスの破損。迫町, 石越町(宮城県北部)などで道路, 建物 などに被害。負傷者34, 建物一部破損26, 道路損壊33, 山・崖崩れ10。
115	II 22 14 52	伊豆大島近海	34 44	139 19	00	4.0 IV: 大島。
116	III 7 11 49	東海道はるか沖	32 08	137 44	440	* IV: 宇都宮, 千葉。(III)
117	III 13 02 59	宮城県沖	38 45	142 00	60	5.0 IV: 大船渡。
118	III 16 07 05	父島近海	26 35	141 04	280	6.7 IV: 父島。(III)
119	III 20 19 24	茨城県南西部	36 05	139 53	60	5.5 IV: 宇都宮, 熊谷。(III)
	III 22 09 51	エトロフ島付近	44 00	149 49	50	6.5 I: 根室。
	III 23 06 35	エトロフ島付近	44 12	149 43	80	6.6 I: 根室, 室蘭。
	III 23 09 31	エトロフ島付近	44 25	149 44	40	6.7 II: 根室, 釧路, 帯広。
	III 23 10 49	エトロフ島付近	44 00	149 16	70	6.0
T 120	III 23 12 16	エトロフ島付近	44 48	149 25	60	7.0 III: 釧路。微小な津波が観測された。 花咲16cm, 父島8cm。
T 121	III 25 04 48	エトロフ島付近	44 20	149 49	40	7.3 III: 釧路, 根室, 帯広, 広尾。微小な津 波が観測された。花咲32cm。釧路8cm, 八戸10cm, 父島12cm。
122	IV 3 11 04	福井県北部	36 04	136 18	10	4.7 IV: 福井。震央付近で軽微な被害。
123	IV 7 08 30	千葉県東方沖	35 03	141 22	30	6.1 IV: 銚子。(II)
124	IV 8 01 21	銚子付近	35 38	140 53	60	4.8 IV: 銚子。
125	V 16 16 35	青森県東方沖	40 57	141 28	10	5.8 IV: むつ。三沢市など県の東部で小被害。 負傷者2, 建物一部破損12。
126	V 16 17 24	青森県東方沖	40 56	141 27	10	5.8 IV: むつ, 青森。
127	V 23 16 50	種子島近海	30 59	130 22	160	6.7 IV: 宮崎, 名瀬, 屋久島, 油津, 都城。
128	VI 4 05 04	島根県中部	35 05	132 42	00	6.1 IV: 広島, 呉。震央付近で建物, 道路等 に軽微な被害。
●T129	VI 12 17 14	宮城県沖 (1978年宮城県沖地震)	38 09	142 10	40	7.4 V: 仙台, 福島, 石巻, 大船渡, 新庄。 IV: 山形, 宮古, 小名浜, 盛岡, 白河,

*6.7~7.0

番号	発震時 月日時分	震源要素				規模 M	記 事	
		震央地名	北緯 。	東経 。	深さ km			
							酒田, 水戸, 秋田, 宇都宮, 八戸, 柿岡, 銚子, 熊谷, 東京, 前橋, 横浜, 館山, 大島, 帯広。宮城県を中心に青森県, 岩手県, 福島県等でかなりの被害が生じた。死者28, 負傷者約1300, 家屋全壊約1200, 半壊約5600, 一部破損約6000, 半焼7, 道路損壊約900, 橋梁損壊約100, 鉄軌道被害約140, 山(崖)崩れ約500。また東北地方の太平洋沿岸などで軽微な津波が観測された。高さの最大 鮎川20cm, 仙台新港30cm, 小名浜15cm, 大洗17cm, 八戸22cm, 宮古18cm, 大船渡25cm, 釧路17cm, 函館14cm。	
130	VI 14 20 34	宮城県沖	38 21	142 29	40	6.3	IV: 福島。(II)	
131	VI 21 19 54	宮城県沖	38 15	142 00	50	5.8	IV: 大船渡。	
132	VII 4 11 41	宮崎県北部	32 40	131 21	120	6.2	IV: 大分, 宮崎。	
133	VII 16 02 45	浦河沖	41 51	142 39	60	5.3	IV: 浦河。	
T 134	VII 23 23 43	台湾付近	22 11	121 27	20	7.1	II: 石垣島。石垣島で波高10cm前後の津波。	
	IX 2 10 57	台湾付近	24 43	121 58	80	6.5	II: 与那国島。	
135	IX 11 16 41	石垣島近海	24 25	125 12	30	6.0	IV: 宮古島。	
136	IX 13 13 29	父島近海*	26.36	141.95	33	5.0	II: 父島。母島で軽微な被害。	
137	IX 29 06 12	青森県西部沿岸	40 34	139 48	20	4.2	IV: 深浦。	
		1978年11月～1979年4月にかけて深浦付近で地震群発, 有感地震96回。						
138	X 11 10 49	八丈島近海	33 34	140 53	50	5.7	IV: 八丈島。(II)	
139	X 29 07 46	釧路沖	42 26	144 23	70	5.4	IV: 釧路。	
140	XI 7 00 09	北海道南部	42 12	143 08	70	5.5	IV: 広尾。	
141	XI 23-10 43	伊豆半島中部	34 46	139 01	00	4.9	II: 大島, 館山, 石廊崎。東伊豆町で軽微な被害。	
142	XII 3 22 15	伊豆大島近海	34 53	139 11	20	5.4	IV: 網代。(III) 伊東市等で軽微な被害。	
143	XII 6 23 02	クナシリ島付近	44 44	146 58	100	7.7	IV: 根室, 釧路, 帯広, 浦河, 広尾, 八戸, 盛岡, むつ。(II)	
	XII 23 20 23	石垣島近海	23 04	122 41	40	6.9	III: 石垣島, 西表島。	
	1979 (昭和54)							
	II 20 15 33	三陸はるか沖	40 13	143 52	00	6.5	III: 盛岡, 帯広。	
144	III 2 06 05	長野県中部	36 08	137 59	00	3.9	II: 松本。松本市で軽微な被害。	
145	IV～1980 III	函館付近	1979年4月から1980年3月にかけて函館付近で群発 有感回数30。					
146	IV 12 13 59	三重県西部	34 47	136 03	10	4.3	IV: 奈良。	
147	V 17 18 56	釧路沖	42 46	144 39	60	5.0	IV: 釧路。	
148	VII 4 15 08	クナシリ島付近	43 46	146 39	50	5.9	IV: 根室。	
149	VII 13 17 10	瀬戸内海西部	33 51	132 03	70	6.1	IV: 松山, 下関。山口県でダンプカーに落石, 重傷1。	
150	X 28 14 39	千葉県東方沖	35 07	140 45	90	5.5	IV: 館山。(III)	
	XI 30 02 08	小笠原諸島南部	23 16	143 49	100	6.1		

番号	発震時 月日時分	震源要素				規模 M	記 事	
		震央地名	北緯 。 ,	東経 。 ,	深さ km			
T 151	XII 12 16 59	エクアドル沿岸*	1.6 N	79.4 W	33	7.9	日本の太平洋沿岸で微小な津波が観測された。高さの最大 花咲12cm, 八戸21cm, 串本9cm, 土佐清水10cm, 油津13cm, 父島19cm。	
152	XII 14 16 19	釧路沖	42 45	144 29	70	5.7	IV: 釧路。	
153	XII 30 00 06	北海道南部	42 14	143 02	70	5.7	IV: 浦河。	
1980 (昭和55)								
154	I 13 00 57	北海道南方沖	41 38	143 53	60	6.1	IV: 広尾。	
155	II 中旬~III	沖縄島近海	久米島付近で群発 有感回数12回。					
	III 3 08 29	沖縄島近海	27 00	126 37	20	6.7	III: 久米島。	
156	II 23 14 51	北海道南東沖	43 27	146 33	30	6.8	IV: 根室, 釧路。	
157	II 24 07 39	北海道南東沖	43 11	147 04	30	5.9	IV: 根室。	
158	IV 22 14 35	東海道はるか沖	32 09	137 55	400	6.6	IV: 宇都宮。(III)	
159	VI 下旬~VII	伊豆半島東方沖	6月25日から伊豆半島東方沖で群発 有感回数6月170回, 7月106回。					
	おもな地震							
	VI 27 06 06	伊豆半島東方沖	34 56	139 13	00	4.9	IV: 大島。(II)	
	VI 28 12 05	伊豆半島東方沖	34 56	139 12	00	4.9	IV: 大島, 網代。(II)	
	VI 29 16 20	伊豆半島東方沖	34 55	139 14	10	6.7	V: 大島, 網代。IV: 東京, 横浜, 三島, 館山, 熊谷。群発地震中最大の地震。伊東市を中心に小被害。負傷8, 家屋全壊1, 一部破損17, 山(崖)崩れ29, 道路破損21。	
160	VIII 7 14 44	雲仙岳付近	32 41	130 13	00	3.4	IV: 雲仙岳	
161	IX 24 04 10	茨城県南西部	35 58	139 48	80	5.4	IV: 水戸, 宇都宮, 柿岡。(III) この地震により負傷者5の被害。	
○ 162	IX 25 02 54	千葉県北部	35 31	140 13	80	6.1	IV: 東京, 横浜, 館山, 熊谷, 網代, 宇都宮, 柿岡, 千葉。東京を中心に死者2, 負傷73等の被害が出た。	
163	X 9 11 07	茨城県沖	36 20	141 00	40	5.1	IV: 水戸。(II)	
164	X 20 12 29	八丈島近海	33 15	140 46	50	5.2	IV: 八丈島。(I)	
165	XI 27 08 49	青森・岩手県境	40 26	141 30	90	5.9	IV: 八戸, 宮古。	
166	XII 12 08 10	日向灘	32 23	131 55	40	6.0	IV: 大分, 人吉。	
	XII 20 08 33	鳥島近海	30 41	141 09	60	6.1	I: 父島, 東京, 八丈島, 館山。	
	XII 31. 19 32	千島列島中部	46 14	152 22	70	7.1	III: 浦河。	